



三庄小学校 校長室だより



立町 三庄小学校
校長室

R8.2. 28

ゆめやなりたい自分に向かってチャレンジ

ミラノコレティナ五輪では、日本選手の輝かしい活躍で大きな感動に包まれました。その中でフィギアスケート初出場の中井亜美選手の活躍について、子供たちに紹介しました。中井選手は、五歳でフィギアを始めた時から「トリプルアクセル（三回転半）」を「ぶ」を目標に、そのためにするべきことをひとつひとつとして継続してきたそうです。

もうすぐ、卒業や進級を迎えるにあたって、自分の夢やなりたい自分について見つめ直すチャンスです。子供たちには、よりよい自分を目指し、できることを考えてポジティブにチャレンジしていきましょうと思います。学校では、子供たちの思いを引き出し、それを支えていくための「よりよい学習」「よりよい生活」「よりよい人の関わり」を整えていきたいと思います。特に、あらゆる場面で必要となる「行動と気持ちのきりかえ」ができることで落ち着いて活動に取り組むことができ、ご家庭でも「行動と気持ちのきりかえ」について声をかけてみてください。



ゆめやなりたい自分に向かってチャレンジしよう

行動と気持ちのきりかえ

本年度最終授業参観

二月七日は、本年度最終の授業参観日でした。保護者の皆さまにご多用の中、来校し子供たちの頑張る姿を見守っていただいたことと心より感謝申し上げます。

子供たちは、自分の成長を見てもらおうと、緊張しながらも張り切って発表していました。心身ともに成長した姿に感動するとともに、その姿をとっても誇らしく思います。

学校生活では、一人一人がよく考えて、主体的に学習に取り組むこと、そして、友達と学びを共有し、協働的な学びを通して、より深い学びとなることを大切にしています。

子供たちには、あらゆる可能性が秘められています。その可能性が努力とともに実を結び、成長が見られます。

参観日に、自分の頑張りを誇りに思っている子供たちを喜ばせたいと思います。子供たちの成長を共に喜び支援していききたいと思います。



長縄集会

二月十八日に、長縄集会を行いました。持久走に続き、冬季の体力づくりとして縄跳びに取り組んでいきます。

特に、長縄跳びは、三庄キッズ班で練習し、学年が下学年の子供たちに教えながら、互いに上達すると共に仲間と支え合うことを学んでいます。そと背中を手をやり縄に入るタイミングを教えたり、跳びやすいように縄の回し方を工夫したりする姿が見られました。

長縄集会では、各班が自己ベストを目指し声をかけ合って取り組み、喜びを共有することができました。



スキー学習

二月十七日に、四年生が、井川スキー場にスキー学習に行きました。インフルエンザ流行により、一時は中止となっていました。が、スキー場をはじめたくさんの方の支援のもと無事行うことができました。

学習の始めは、思い通りにいかず戸惑っていましたが、インストラクターさんの話をしっかりと聞いて、あきらめず頑張ることができました。根気強く取り組むことの大切さも学ぶことができました。



体験入学（園との交流）

二月二十八日に、一年生がこども園と保育園の五歳児さんを招待し、体験入学を行いました。

園の子供たちに小学校生活を知らせてもらおうと、この日のために計画し一生懸命に練習を重ねてきました。音読や計算、鍵盤ハーモニカの演奏、漢字の紹介、お手玉やけん玉の遊び、校内たんけんなど盛りだくさんでした。互いに緊張しながらも、交流を楽しみることができました。

最後は、手作りのメダルをプレゼントし絆を深めていました。交流を通して一年生は、自分たちで考え努力することを得られた成果を実感し、さらにたくましく成長することができました。



駅伝大会

二月十四日は、三好郡市の駅伝大会でした。今年、五・六年生二十名が大会を目指して練習に励んできました。インフルエンザ流行により、六年生八名だけの参加となりました。

参加できなかった友達の悔しい思いを胸に当日の競技に臨みました。

イタリアノグラウンドの周りをそれぞれが二周ずつ走りました。途中アップダウンのあるコースを苦しみながらもそれを乗り越え見事に走り切りました。それぞれが自己ベストを記録し、共に喜び合う姿が輝いていました。

